

ちばる地域提案事業のご報告



「アサギ庭のガジュマル」伐採跡地に建設された東屋

大浦区

海、山、川に囲まれた自然豊かな地域で、小さな子どもからお年寄りまでつながりがあり、区外の方々との交流も活発に行っている。

集落の中心に位置する、樹齢150年以上の「アサギ庭のガジュマル」は区のシンボルだったが、不治の病にかかり、安全のためやむなく伐採した。



宮里 辰之 区長

事業名	「アサギ庭のガジュマル」よ永遠に。 区民憩いの東屋建設事業
事業実施の理由	「アサギ庭のガジュマル」を失ったことによる区民の喪失感を取り除き、かつてガジュマルがあったことを後世に伝えたい。
事業の内容	○ガジュマル伐採跡地での東屋の建設 ○成人会を中心とした区民での塗装作業

宮里辰之区長のお話

名護市の文化財にも指定されていた「アサギ庭のガジュマル」ですが、「ミナミネグサレ病」という病にかかり、いつ倒木してもおかしくないような状態になってしまったので、令和2年1月29日に伐採しました。しかし、区の象徴であったガジュマルを失ったことによる区民の喪失感は大きいものでした。そこで、東屋を建設することで、区民の新たな心の拠り所となり、また、アサギ庭にガジュマルがあったことを後世に語り継ぐことができるのではないかと思います、事業を提案・実施しました。



伐採された「アサギ庭のガジュマル」



東屋建設中の様子

コロナ禍が続いて人々の交流がなくなり、心が落ち込んでいるような状況なので、活気のある楽しい地域になるよう再構築していきたいです。また、防災についても力を入れているので、「防災に強い地域」を目指していきたいです。『がじゅまる屋』を設置した場所には『津波襲来の碑』がありますので、防災について話すことのきっかけづくりになればいいと思います。



津波襲来の碑

令和3年2月に完成して以降、コロナ禍のために人が集まる機会がほとんどありませんでしたが、5月に落成式と学事奨励会を、規模を縮小して開催しました。また、愛称を『がじゅまる屋』としました。今はイベント等も開催できるような状況ではないのですが、将来的には盆踊りやその他の地域の団体活動でも活用されたり、普段の区民の交流の場としても利用してもらえたらと思います。



「がじゅまる屋」落成式